

我が家のごみ減量の取り組み

加藤了教

小金井市ごみ非常事態宣言とごみゼロ化推進会議発足（平成 18 年 10 月）以来ごみ我が家でもごみ減量とリサイクル向上に取り組んできました。具体的には「ごみ発生記録用紙」を作り、毎日すべてのごみ量を約 10 年記録。発生抑制徹底、分別徹底、資源化徹底に何ができるか考えてきました。その結果平成 28 年には、小金井市の燃やすごみ排出量の 1/7 以下、燃やさないごみは 1/4 以下、リサイクル率は 82%でした。その後記録用紙の記入はやめましたが、減量等の取り組みは続けています。令和 4 年 1 月～5 月までごみ排出量調査をしましたのでその結果を表にまとめました。

2022 年 1 月～5 月ごみ排出量家族構成:2 人（家庭系）					
	月平均 (g)	g/人日	(%)	ごみのゆくえ	小金井市 R3 年度 (g/人日)
燃やすごみ	1,684	28.1	4.8	収集	270.4
生ごみ	7,190	119.8	20.3	堆肥化	
古紙類	20,830	347.2	58.9	集団回収	
プラごみ	2,772	46.2	7.8	収集	50.9
燃やさないごみ	1,170	19.5	3.3	収集	34.1
店頭回収	150	2.5	0.4	OK ストアー	
難再生古紙	318	5.3	0.9	拠点回収	0.2
その他のごみ	1,249	20.8	3.5	収集	
計	35,363	589.4	100		

*g/人日：月平均の量÷30日÷2人
*人口：124,646人（令和3年10月1日）
*古紙類が全体の約59%と多いのは、新聞・雑誌や2人とも多くの団体役員等をしているため資料等が多い。また、以前は新聞の折込広告やダイレクトメールを断っていたが今は断っていない。
*その他のごみ：びん、缶、金属など。
*資源物として、生ごみ、古紙類、プラごみ、店頭回収、難再生古紙、その他ごみ合計 33,875 kg/月、総資源化率 96.7%となる。
ちなみに令和3年度小金井市の総資源化率は 46.0%である。

<ごみ減量・リサイクルの主な取り組み>

- ① **燃やすごみ**：生ごみは全量第一小学校生ごみ処理機肥料化投入、難再生古紙は拠点回収
資源化できる紙類は徹底して雑紙に分別（例えば郵便袋のセロハンは切り抜き雑紙に等）
古くなったタオルなどは雑巾として使うなど。
- ② **燃やさないごみ**：例えば古くなったくつは靴屋まで履いていき購入時に交換。市のくつ・かばん回収に
- ③ **プラスチックごみ**：飲料用ペットボトルは買わない。缶もめったに買わない。汚れたプラは洗って出す。
- ④ **集団回収**：新聞・雑誌・段ボール等全量集団回収に出す。近所にも協力呼びかけている。
- ⑤ **枝木・雑草類**：剪定業者が回収、自分でするときは庭に埋める。
- ⑥ **店頭回収**：可能な限り利用する。
- ⑦ **リユース**：新品自転車を買ったことがない。日用品等はバザーに出している。